



# The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ2024年 9月報

会 長	中川典幸	副 会 長	佐々木絹子
書 記	小幡忠弘	会 計	吉田一恵
メ ネット	会 長	担 当 職 員	吉永肇子

- 国際会長主題 「Together for a better world -良い世界のために、共に-」
- アジア太平洋地域会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
- 東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
- 北東部長主題 「ユースと共に活動する一年に」
- クラブ会長主題 「活動の活性化を図る一年に」

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町9番7号 仙台YMCA内  
仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

## <今月の聖句>

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

生まれる時、死ぬ時、植える時、植えたものを抜く時、殺す時、癒す時、破壊する時、  
建てる時、泣く時、笑う時、嘆く時、踊る時、石を放つ時、石を集める時、放つ時、  
裂く時、縫う時、黙する時、語る時、愛する時、憎む時、戦いの時、平和の時、  
人が労苦してみたところで何になろう。」

旧約聖書 コヘレトの言葉 第3章1節～9節

## 「小さい公園」

## 佐々木絹子



自宅近くにぶらんこ、すべり台、木のベンチがある小さい公園があります。10数年前市の公園愛護協会に、公園の除草、清掃など、公園を守る活動に参加を依頼して加わり、町内活動の班の中での作業として、年間活動の計画をたて12名位の会員の方と草取りを早朝に集まって始めました。個々、利用時にゴミ拾いや遊具の点検などをしております。活動に対して市から協力金が出ますので、スッキリした公園でお隣、近所の皆様とお茶、お菓子を楽しみ、コミュニケーションをとっています。ここ数年、暑さや会員の高齢化に伴い作業が困難になり、若い会員に入って頂き、手作業から草刈りに変えての作業、年に一度は会員で樹木の枝切りや溝の掃除等をして、いただく協力金を自分達でお茶菓子を用意して頂くことにしてもらい、その度にご近所の安否確認をしあいながら終了します。

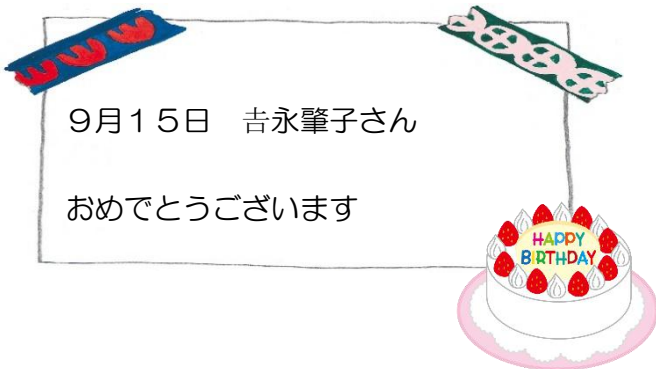
小さい公園の作業をさせて頂いている者、近くの道路や歩道のおおいかわさる雑草をみる時、何とかならないかなあと思ったりしますがどうしたらよいかわからないまま、この小さい集まりではぶりかなと思うだけで終わってしまいます。現在、子供は班で一人、あとは大人20数名ですが活動を続けて声をかけあい、小さい中にも町内の防災集合場所にもなっている大事な所、いつでも“大丈夫”な公園として守っていきたいと願っています。

追伸 この度協会から感謝状を頂きましたのでこの事も大きな励みです。

9月の例会  
 日時： 9月17日(火)  
 18:30 ~  
 会場： 立町会館  
 内容： 203号  
 担当： 三上・吉永  
 司会： 三上  
 食前感謝： 高松

8月 日例会報告	
在籍者	11名
出席者	9名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	0名
メネット・コメント	0名
出席率	81%
ニコニコ	8,500円

## 9月のお誕生日



9月15日 吉永肇子さん

おめでとうございます



## 私の思い出 “ふるさと” 高松成士

幾度となく“ふるさと”、志津川について書かせていただいています  
 が、今回も新しい情報を皆さんにお伝えしたい共います。

志津川戸倉地区は13年前の大震災で殆どが跡形もなく変化してしま  
 いました。時折、PCで「志津川 戸倉」を検索しては、昔の風景を挙げ  
 ている人はいないかと失われた“ふるさと”を探すことがあります。先日、  
 PCで検索したところ、『戸倉路のつたえ～語り継ぐ津波の道標～西條實さ  
 さん』というサイトを見つけました。読んでみるとなんと私の生まれた水戸辺川 流  
 域の上沢前（在郷）地区の慶長大津波の伝承記録であることが分かり、読み入ってしまいました。  
 西條さんは、元村会議員であった祖父が書き残した記録（全て大震災の津波で流出）を何度も何  
 度も見ては全部頭の中に入れておいたのでそうです。今回の震災を機に、記憶したことの事実と  
 調査を行い東北学院大学東北文化研究所客員研究員田中則和氏（前宮城県考古学会会長）、宮城  
 教育大学教育学部准教授山内明美氏の支援のもと「東日本大震災RQ聞き書きプロジェクト『自  
 分史』公開サイト」への掲載ができたことに感謝の記載もありました。

サイトには、1616年11月28日発生 of 慶長三陸地震津波は、「東日本大震災の津波を超えて  
 水戸辺川を遡上し、もともと無名であったと思われる沢にその被害にちなんだ名前がついてい  
 る。」との記載がありました。

### 「沢々の地名」（上沢前）

- ① 出笹沢(でささざわ) 笹が群生しており、津波で多数の笹が押し寄せられていた。
- ② 藁穂沢(わらぼざわ) 山の窪に穂が付いたままの藁が積みあがっていた。
- ③ 女の沢(おんなのさわ) 女の人が沢の奥地で亡くなっていた。
- ④ 鳥越沢(とりごえざわ) 津波の中から一羽の鳥が西戸の方へ飛び立ったので、避難していた  
 人々が喜んだ。



- ⑤ 牛殺し沢(うしころしざわ) 牛が重なりあって死んでいた。
- ⑥ 吉三郎沢(きちさぶろうざわ) 吉三郎という人が死んでいた。
- ⑦ きつね子沢(きつねこざわ) キツネの子が死んでいた。
- ⑧ 遠の木沢(とおのきざわ) 色とりどりの雑木林のある沢。
- ⑨ 大害沢(たがいさわ) 一番被害のあった沢。
- ⑩ 舟沢(ふなざわ) 舟が寄っていた(流れついた)沢。
- ⑪ 小屋の沢(こやのさわ) 家が寄っていた(流れついた)沢。
- ⑫ タタカイ沢(たたかいざわ) 海水と川の水が戦ったとされる慶長津波の最終地点。

私の生家の住所は戸倉字上沢前 68 番地。聞いたことのない沢の名前が 12 カ所。西條氏手書きの地図と記憶をすり合わせる出笹沢と藁補沢の間くらいです。大震災の津波到達地点は吉三郎沢との別れの上流地点。現在は牡蠣殻置場付近。そして、慶長大地震津波の到達地点は、1km 以上上流のタタカイ沢とのこと。水戸辺川の長さは、調べたところ 3,124m。生家は下流より 500m 程度、小学校の遠足で上流に行ったことのあるのは精々 2,0km 程度上流。ということは 2.5km 上流。昨年、末娘と蕨とタラの芽採りに行ったのはその更に数百m 上流。その更に上流と思われるタタカイ沢まで慶長大地震津波は遡上したことを始めて知りました。



## 8月例会報告

2024年8月20日(火) 18:30~20:30 会場: パルコ2 バーベキューピアガーデン  
出席者: 佐々木、吉田、今澤、中川、永井、三上、小幡、吉永、高松

仙台ワイズメンズクラブの8月例会は、中川会長のたつての希望により仙台ワイズメンズクラブ単体ではございましたが毎年恒例の納涼例会となりました。今年も夏が暑すぎるため、ぜひビアガーデンで例会を行いたいとのことで、仙台パルコ屋上のBBQガーデンにて飲み放題、・食べ放題プランをチョイスして臨みました。



1. 本日の司会の中川さん。簡単な挨拶のあと恒例のジョッキの用いての開会点鐘の後、今月の聖句が読み上げられました。外部での例会となるため、ワイズソングは省略し、ワイズの信条を密やかに唱和の後、会長挨拶として、中川会長より夏の暑い時期、みなさま食中毒には十分注意されているとは思いますが、ペットボトルの飲み残しやペットボトルの水等も痛みやすいので十分ご注意くださいと貴重なアドバイスをいただきました。



引き続き、会食の前に吉永担当職員より、チャリティーランのグッズ販売のお知らせがあ

り、速やかな注文確認と代金の回収がありました。その後、吉永さんの食前感謝のお祈り



があり、いったん心を落ち着けて食事の体制を整えます。

食前感謝の祈りが終わると、ここからは時間との戦いです。まず、男性陣が飲み物と食べ物を取りに行き、女性陣はテーブルのセッティン

グとサポートに周り、一通り準備ができた後に乾杯の掛け声とともに BBQ がスタートしました。今回は焼肉がメインだったので、とにかく大量に確保してきた肉をひたすら焼きます。焼いては食べ焼いては食べるの繰り返し、さながらわんこそばのようです。気付けばほとんどのメンバーが立って焼いています。周りのテーブルはみなさんお座りになって楽しそうに談笑しながらお肉を焼いています。まさか仙台ワイズのみなさんが、これほど BBQ に夢中になるとは思っておりませんでした。



そうこうして、お腹も満たされ、頃合いを見計らって中川会長より、チャリティーランとチャリティーゴルフの支援協力をお願いと、次期東本区大会の話し合いが8月24日の17時から開催されますので、ご参加できる方はよろしくお願いたしますとインフォメーションがありました。その後ニコニコ、閉会挨拶、閉会点鐘となり納涼例会は終了となりました。ひと時ではございますが、夏の暑さを忘れるぐらいの盛り上がりを見せた納涼例会となりました。また、楽しい企画を準備して皆さんと盛り上がりたと思います。

## 9月の強調月間： EMC=Extension,Membership&Conservation

Eは、クラブ拡張（新クラブ設立）、MCは会員増強と維持啓発（新会員獲得と会員意識の高揚）の意味があります。ワイズメン運動の拡大強化を図り、絶えざる課題として努力を続ける必要があります。

- チャリティーゴルフは、10月17日（木）に開催いたします。ゴルフの好きな方をぜひお誘いください。
- まもなく、じゃがいも・カボチャ販売が行われます。（国際地域協力募金）詳細がわかりましたらすぐにお知らせいたします。

### 編集後記

9月初め、保育園にオニヤンマがホールに迷い込み、20代の職員が人生で初めてオニヤンマを見たと感動して教えてくれました。9月13日、14日は、こども園と保育園4園の合同年長組キャンプが花山青少年自然の家で行われました。自然を感じるひとは、ゆったりとした幸せな時間が流れます。今月も恵みを数え、幸せを感じ感謝の月となりますように。

「しあわせて なに 自信をもつこと 自分をたいせつにすること そして 自分とおなじくらい ほかの人も たいせつにできること」 『しあわせ』 レイフ・クリスチャンソン (T.Y)

